

しては「仙北市水田農業推進協議会」という組織の中で全体的なことを協議しながら進めている。

**質問** 耕作放棄地や転作田に、転作作物

として菜の花を栽培して菜種油を搾り、その搾りカスで飼料や上質な有機肥料を生産し、又廃食油からBDF、バイオディーゼル燃料でトラクターやコンバインのCO2の全く出ないエコ燃料をつくり出す。さらに菜の花で観光に結びつける取り組みを提案したい。市長の見解を伺う。

**答弁** 耕作放棄地等を

利用した菜種油、菜の花の件については地球温暖化等の問題と相まって、菜種油、又菜の花の栽培ということについては非常に目にするものが多くなってきた。化石燃料に頼らず、循環可能なものに燃料資源を求めるということについては仙北市は木質バイオ、木材チップを利用したバイオ発電を行うということなどでスタートを切ったばかりである。菜の花を初め、稲わら、



菜の花から始まる自然循環地域をめざす

などのバイオ燃料を進める上での諸課題について担当課を中心に研究をし、菜種油、菜の花を景観観賞も含め仙北市としてどのように取り組んだらよいか検討していく。

**質問** 平成20年度中に

提出した仙北市立病院等改革推進計画に対する国県の評価について、国県より指摘や照会事項が出されたのか。又、改革推進計画の期間は5年間であるが、計画実施状況の点検、評価、公表はどのように行うのか。

**答弁** 仙北市立病院等

改革推進計画を去る3月に県を通じて総務

省へ提出している。国からの正式な評価については未だ報告は受けていないが県とヒアリング段階では計画内容について理解が得られたと思っ

てい

計画実施状況については年一回の点検評価を実施する。市民を中心とする組織からの進捗状況についての点検評価、また一方では専門性のある方による点検評価を進める。達成が困難であると認められた場合には、原点に戻って策定委員会からの意見集約を基本として見直しをする。

## 市長選自分で意思表示をする時 あたえられた職を全うする



佐々木章

**質問** 現職市長として、

これまで施策、あるいは政策課題について執行されてきた。この先の仙北市をどうするのか。現職としての責務上、もっと明確に市政をどうなるかということを市民に語るべきである。今後市民と協働のまちづくりにということであれば、はっきりと自分意思表示をする時期に来ているのではないか。

**答弁** 4年の過程の中

で仙北市の融和というものが着実に進んでいる。そして結果として仙北市の総合計画に挙げた諸課題が少しずつではあるが合併効果としてあらわれてきていると認識している。市長の任期は4年一区切であり、当市

が現状抱えている諸課題の進捗度また当市が県内、近隣の中で果たす役割ということも、自治体の継続性という中では考えていかなければいけない。現在職にあるその中で与えられた職務を精一杯務めるといのが私の気持である。今後議会の皆様市民の有識者の皆様、さまざまな御意見を聞き取る必要もあると思う。私自身、気力、体力、

そして健康等を一つ一つチェックしながら、その中で与えられた職務を精いっぱい努めながら最終意思決定をしたい。

**質問** 緊急雇用対策、

経済対策については、未曾有の経済危機を3月以降補正予算で対応している。市民は、最大の財源等で施策的に施している。実感は浸透が受け止め方として十分には受け止められない空気もある。これまでの実績、市として財源をフルに活用して市民生活に効果を



一般質問に答える石黒市長